



Konomi kindergarten



# ART

Festivals



木の实幼稚園  
造形展

2026.2.13(金)13:00-16:00

2.14(土) 9:00-12:00

13:00-16:00



## 木の実のプロジェクト型保育について

ご承知の通り、本園ではイタリアのレッジオ・エミリア市の幼児教育理念に共鳴し、「プロジェクト・アプローチ（プロジェクト型保育）」という名前で実践されている教育を、現在3年保育以上の全てのクラスで行っております。

プロジェクト・アプローチ（プロジェクト型保育）は、1）何より子供が中心となって教師とどんなことも話し合い保育を進めていくこと。2）子供の興味、関心に基づいたトピックに基づいて、様々な遊びと活動を関連づけたカリキュラムを作る事がその大きな特徴で、遊びや活動の経験内容とそのつながりを重視するカリキュラムです。

活動や遊びを一方向的にさせるだけのカリキュラムではなく、子供たちが示す興味や疑問、問いかけを「トピック」（話題）にして、教師がそれらをまとめて「テーマ」を設け、そこから色々な活動が子どもとの話し合いの中で展開されていく、「探求型のカリキュラム」とも言えます。

そのトピックやテーマ、活動が展開されていく流れをまとめたものが、この冊子の各クラスの内容紹介の末尾に付けられている「トピック・ウェブ」＝「話題の繋がり」～気づき、関心、話題の広がりや繋がりを網の目のように図示したものです。

今回の造形展でも、このプロジェクト型保育の中で子供と保育者が一緒に考え、様々なものを活用して色や形で遊び、表現する「活動・探求の過程」を年間通して展示しております。

### ～「トピック・ウェブ」の見方～

☆プロジェクト型保育では、子供たちが日々の遊びや生活の中で気づいたり、驚いたり、関心を持ったことが**保育のきっかけ（破線で表示）**になります。このきっかけがその後の保育が展開される大切なきっかけになります。やがて、その中から色々な話題や活動をまとめる「**テーマ**」が生まれてきます。

トピック・ウェブでは、**遊びのきっかけ＝興味・関心・気づき**が  と図示され、

そこから生まれた**テーマ**が  と図示されています。

さらに、これらから広がった**トピック（話題）**が  と図示されます。

そして、この**話題から生まれた造形遊びや活動**が  と図示されています。

## 私たちの思い ～プロセス・子どもの経験を大切にしたい～

木の実幼稚園の造形展では、この**1年の子供の気づきや興味や関心の変化、保育者や友達と話し合い、語り合っ**て生まれた様々な遊びの広がりの中で、**造形活動がどのようにして生まれてきたかを見ていただく内容**になっています。

その為、1、2学期の作品は、一つの活動のテーマごとに全員の作品が展示されているわけではありません。テーマごとに何点かの作品が選ばれて展示され、また作品として残っていない粘土や立体作品は写真やドキュメンテーションとして展示する場合があります。(当然作品の点数は不公平の無いように、担任が慎重に選択します。)

展示の何割かは3学期の作品になりますが、これも全ての子供が同じ画材、同じテーマで活動した作品がある場合だけではなく、クラスによってはクラスの中で子供たちがしてみたい活動やテーマ、画材、材料を選び、いろいろな表現や作品が、活動のグループごとに展示されていることもあります。また、クラス通信でお知らせしたものと異なるものが、子どもたちの中で広がり、この1月から2月になって新たに取り組んだ活動もあります。

私たちは何より個々の作品の出来不出来を大人目線で見るとは無く、その子、その子の思い〔夢、空想、興味、驚きや発見・・・〕と表現の面白さ、多様性、幼児らしい発想と工夫をその色や形、お話から感じて、共に喜んでいただきたいと思います。

そして自分の子供の作品だけ見て帰るというのではなく、クラス全体がどのように動いてきたのか、どんな遊びや経験、生活をしてきたのか、各担任がどんな思いや願いをもって保育を進めてきたのかを、作品に付された子どものお話の記録、またドキュメンテーション(保育の記録)もよく読んで、保育のプロセス・過程を大切に感じていただきたいと思います。

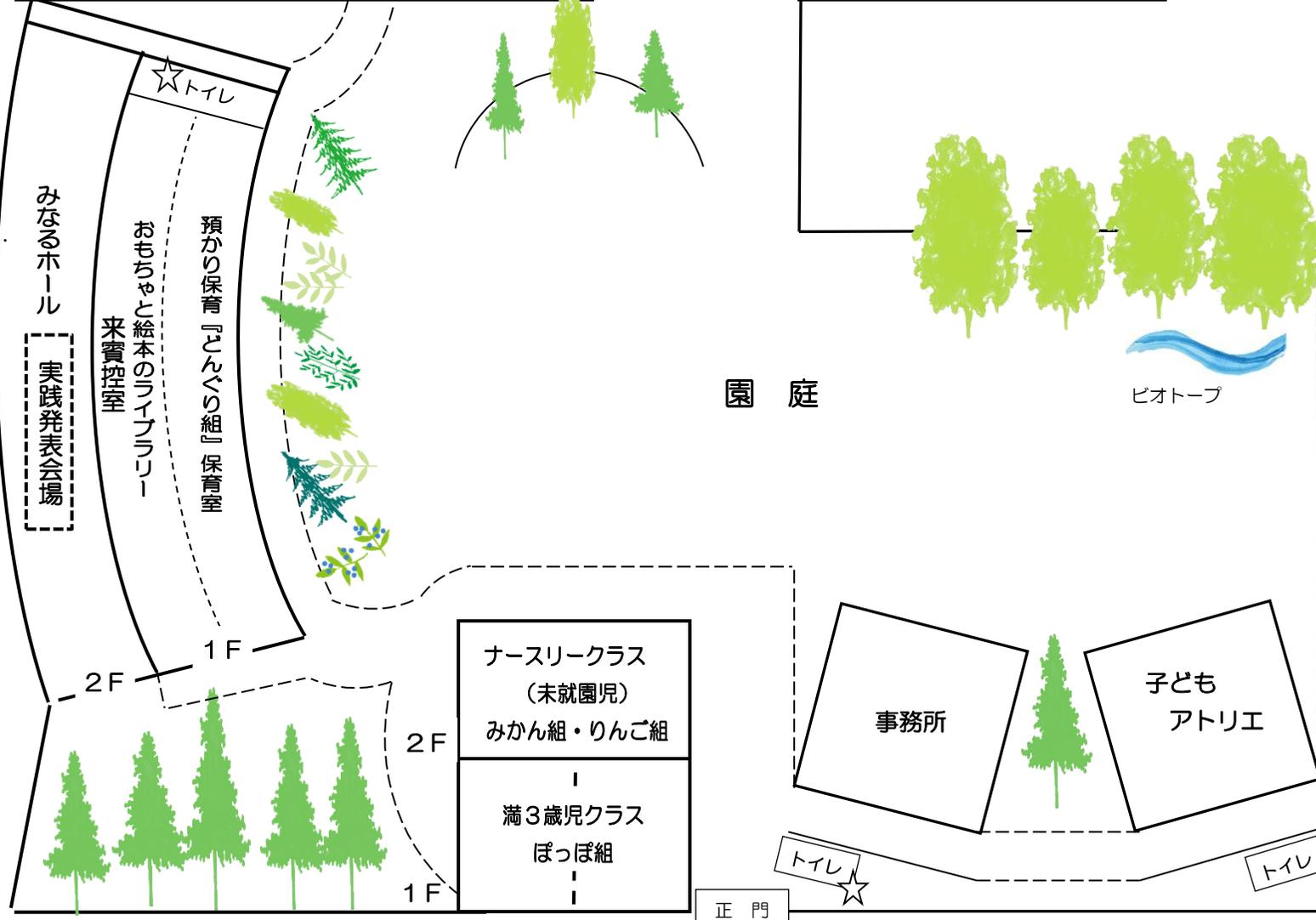
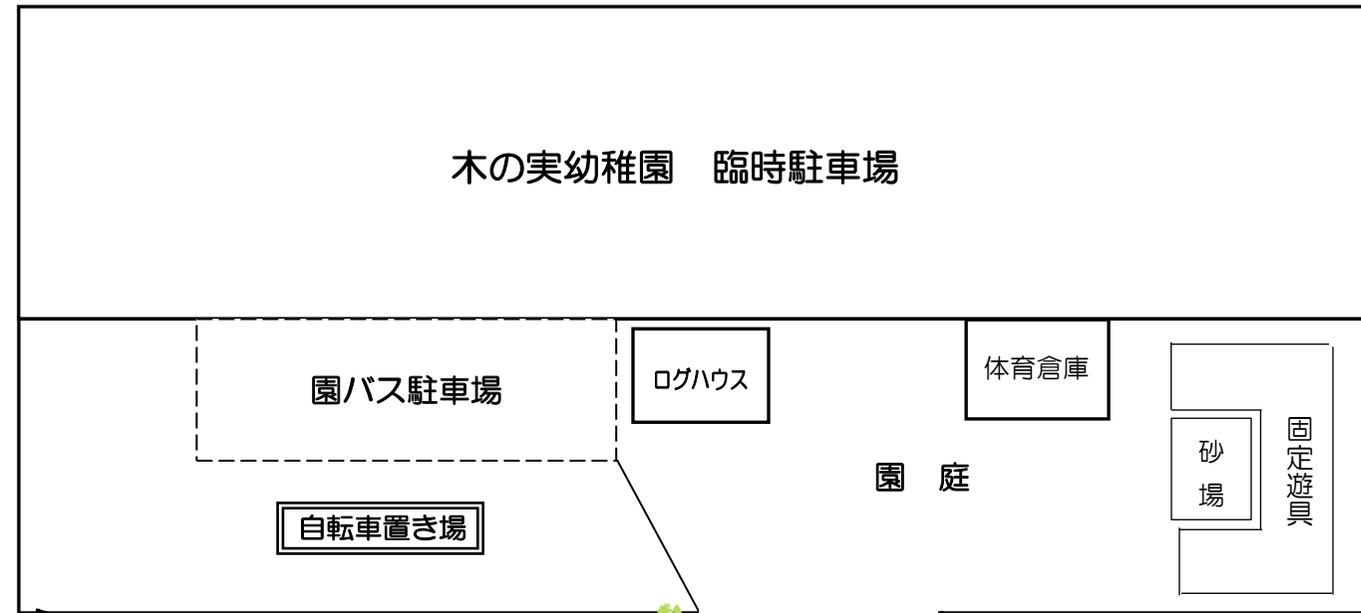
### 子ども達が生み出したもの・作品を見る時は……

- 1、 **自分の子どもの作品だけではなく、興味をもった作品や遊びは、じっくりと見て、感じ、いろいろと考えてみてください。「早見・飛ばし見」では、何も心に届きません。**
- 2、 **色づくりや面白い形を作って遊んだ作品は、「造形遊び」と言います。何を表しているかよりも、その色や形の面白さをよく見て、感じて、楽しんでください。**
- 3、 **それらしい形が描けているものだけが良いではありません。それらしい形でなくても、その子、その子の工夫や思い、お話があります。それをしっかり受け止めましょう。**
- 4、 **他の子どもと比較するのではなく、その子、その子が以前と比べてどう変化したのか、その育ちをよく見てあげてください。「比較」よりも、「あるがまま」を受け止めましょう。**
- 5、 **「上手・下手」だけで判断しない。その子の工夫を理解・共感して、お話をよく聞いてあげましょう。そして一緒に面白がれれば、みんなが幸せです。**

こんな姿勢で、ゆっくり、じっくりと子供たちの表現の世界を楽しんでいただければ幸いです。

木の実幼稚園 臨時駐車場

木の実幼稚園 全体見取り図



				トイレ☆	トイレ
2F	花 (年中)	鳩 (年中)	ひよこ (年少)	パンダ (年少)	うさぎ (年少)
1F	星 (年中)	月 (年中)	雪 (年中)	コアラ (年少)	アヒル (年少)
	※ウッドデッキは土足厳禁です。			1F	2F
2F	松 (年長)	梅 (年長)	トイレ	桜 (年長)	
1F	給室食	竹 (年長)	トイレ☆	光 (年長)	

☆印は大人のトイレです。



# 光組のお部屋

担任：R・Y



## プロジェクト活動の展開と造形遊び

### プロジェクト① 木

活動①/4月 全体活動

「園内探検でスケッチをしました」

活動②/5月 全体活動

「押し花をしました」

活動③/5月 全体活動

「叩き初めをしました」

活動④/6月 全体活動

「木片で遊びました」

活動⑤/1月 全体活動

「木片で見立て遊びをしました」

活動⑥/11月 コーナー活動

「段ボールと芯でツリーハウスを作りました」

活動⑦/10月 コーナー活動

「毛糸で編み物をしました」

活動⑧/6月 全体活動

「粘土と竹串で骨組みを作りました」

活動⑨/7月 全体活動

「絵の具でツリーハウスを描きました」

活動⑩/10月 全体活動

「紙素材で『世界一面白い木』を作りました」

活動⑪/11月 全体活動

「木の実万博のマップを描きました」

活動⑫/10月 全体活動

「木の実万博のマスコットキャラクターを描きました」

活動⑬/12月 全体活動

「オリジナルの国旗を描きました」

活動⑭/1月 全体活動

「世界の人を描きました」

活動⑮/2月 全体活動

「土粘土でトーテムポールを作りました」

活動⑯/1月 全体活動

「絵の具でアレブリへを描きました」

活動⑰/1月 全体活動

「ランタンを作りました」

活動⑱/1月 全体活動

「色々な素材でお面を作りました」

活動⑲/1月 コーナー活動

「布草履を作りました」

活動⑳/1月 全体活動

「段ボールと自然物で民族アクセサリーを作りました」

## 日々の生活の中で生まれる色・形の造形遊び

5月/「線遊びをしました」

1月/「言葉遊びから絵で描きました」

2月/「古代文字で遊びました」

4月、進級してまだ緊張でいっぱいの子もたちと「どんなコーナーを作りたい?」と話していると「お家を作りたい」とお友達の発信から遊びが広がっていきました。初めの頃は「どんなものがいい?」「どうしたらお家が作れるの?」とみんなで話し合い、様々な絵本に出会いました。話を重ねるにつれて、お友達と話す機会が増え、少しずつみんなが自分の思いを発信する姿が見られました。担任の思いとして「家が出来る過程も知ってほしい」と思いがあり、昔の家について沢山調べていく中で「昔は動物の皮で家が出来てみたい」「自分たちで木を探して建ててみたい」と昔の暮らしにも興味をもつ姿が見られました。そこから「お家には木が必要」と知り、園内の木を見に行ったり、木から出来ている物を探しに行ったりするにつれ「木から出来ている物はいっぱい。大切にしないと。」と思いが広がり、少しずつ物を大切に作る気持ちが育ってきました。更に、万博の大屋根リングから「木の実万博を作ろう」と万博作りが開始しました。年長組になり、グループ活動が増える中で、お互いの思いが違った時には、どうしたらお互いの思いを取り入れられるのか考える姿が見られ、成長を感じられました。そして今日は光組で決めた、木の実万博の開催日です。光組の部屋が万博会場となり、一つひとつの作品が、子どもたちの考えたパビリオンとなっております。ぜひ、子どもたちと一緒に思いなどを話しながらワクワクした気持ちで見ただけだと幸いです♪





年長

# 松組のお部屋

担任：N・T



## プロジェクト活動の展開と造形遊び

### プロジェクト① 火

活動①/5月 全体活動  
「墨流しをしてみよう」

活動②/5月 全体/コーナー活動  
「オリジナルの紅茶を作ろう」

活動③/6月 全体活動「布を染めてみました」

活動④/7月 全体活動「紙すき」

活動⑤/1月 コーナー活動「ろうそくを作ろう」

### プロジェクト② 祭り囃子・音楽

活動⑥/10月 全体活動「音符で模様遊び」

活動⑦/1月 全体活動  
「祭り囃子を聴いて、どんな様子か想像して描いてみました」

活動⑧/1月 全体活動「楽器を作ろう」

活動⑨/1月 コーナー活動  
「樹脂粘土で音符ちゃんを作ろう」

活動⑩/1月 全体活動「お面を作ろう」

活動⑪/1月 全体活動「お祭りの衣装を作ろう」

活動⑫/1月 全体活動「映画を作ろう」

## 日々の生活の中で 生まれる色・形の造形

10月/「駒を回すとどんな模様になるかな？」

1月~/「音の形はどんな形？」

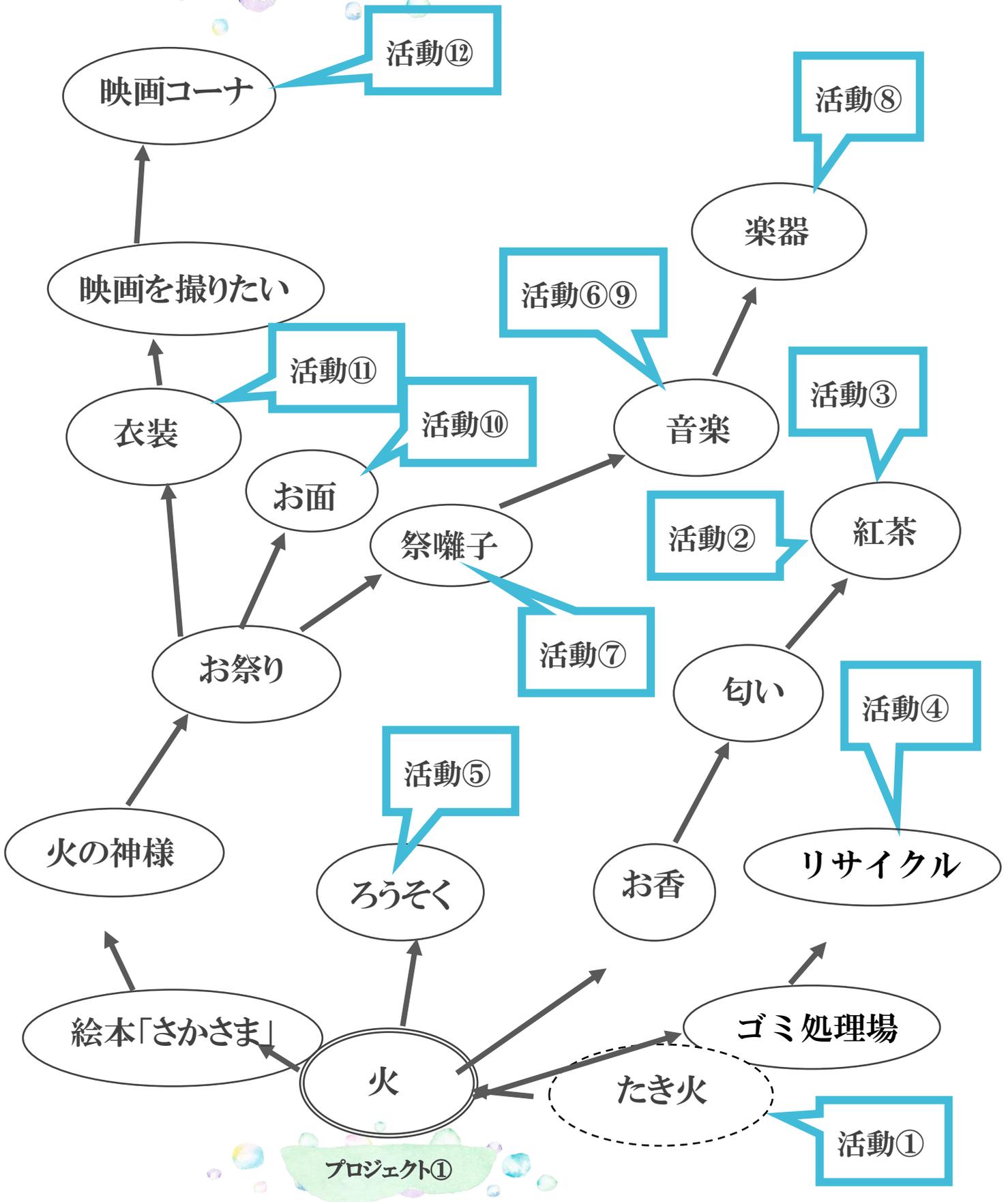
11月/「～0リング～繋げてみよう～」

今年の松組のプロジェクトはあるお友達「焚火しよう！」の一言から始まりました。園内の芝生での会話だったのですが、「いいね！」「やろう！」と他のお友達も賛成する形で、遊びがスタートしました。石を円形に並べ、自然物を食材に見立て…と何気ない遊びだったのですが、そこから「本物の焚火がしたい！」と実際に火を燃やしてみたり、そこで感じた不思議を話し合っ、遊びに繋がったりと、どんどん遊びとワクワクが広がっていきました。

松組さんの魅力はどんなお友達の意見も「いいね！やってみよう！」と温かい空気で包み、1つの目標に向かって全員で協力できること。この1年、こんな素敵場面にも何度も出会うことが出来ました。

今回の造形展でも、「映画コーナー」を始め、子どもたちが1から意見を出し合っ作り上げた作品がたくさんあります。子ども同士のやりとりを想像しながら、楽しんでいただけますと嬉しいです。

松組 トピックウェブ





# 竹組のお部屋

担任：S・S



## プロジェクト活動の展開と造形遊び

### プロジェクト① 地図

活動①②/4、5月 全体活動

「いろいろな線を描いて遊びました」

活動③/6月 全体・コーナー活動

「線を繋いで地図を作りました」

活動④/6月 全体活動

「いろいろなマークを見つけて描きました」

活動⑤/9月 全体活動

「定規を使って国旗をデザインしました」

活動⑥/11月 全体活動

「かるたを作りました」

活動⑦/1月 全体活動

「ドットで模様を描きました」

活動⑧/1月 全体活動

「トータムポールを描きました」

### プロジェクト② 影

活動⑨/5月 全体活動

「透明素材を組み合わせて光と影で遊びました」

活動⑩/6月 全体活動

「いろいろな色を作って遊びました」

活動⑪/1月 全体活動

「異なる素材を重ねて  
コラージュ遊びをしました」

活動⑫/2月 全体活動

「体の部位が動くポーズ人形を作りました」

## 日々の生活の中で 生まれる色・形の造形

1月/「紙絵の具で遊びました」

2月/「粘土で型押し遊びをしました」

2月/「友達と一緒に土粘土で高いものを作りました」

初めはおとなしい印象だった竹組の子どもたちも、友達との関係が築かれていくと造形活動ものびのびと遊ぶ姿が見られるようになりました。そして、思いを伝え合いながら一緒にグループ活動等も楽しめるようになっていきました。竹組では、『地図』や『影』をきっかけに様々な見え方の面白さや不思議さを体験しながらプロジェクト保育を進めてきました。何となく知っていることも何度も繰り返し遊んでいくうちに原理がわかるようになり、試していくからこそ気付くこともたくさんありました。年長組になり、保育者が提案するだけでなく、日々の会話の時間などでクラスのみなどと話を進めながら、それと並行して遊びを広げていくことができるようになっていきます。ときには年少・年中組で経験してきたことを自分なりに取り入れ、オリジナルの新たな表現が生まれることも…！竹組の子どもたちの造形遊びは、一人ひとりのそれぞれの表現があって魅力いっぱいです。また、お互いの表現を「いいね！」と言い合える関係がとても素敵だなと思います。造形展では、作品を通してそんな子どもたちの思いやり取りする様子も思い浮かべながら楽しんでもらえると思います。





年長

# 梅組のお部屋

担任：S・M



## プロジェクト活動の展開と造形遊び

### プロジェクト① 野菜

活動①/12月 全体活動

「育てた野菜をスケッチしました」

活動②/1月 全体活動

「玉ねぎの皮で染め遊びをしました」

### プロジェクト② 民博への遠足から

活動③/1月 全体活動

「民族衣装のアクセサリを作りました」

活動④/12月 全体活動

「絵の具で神様のお面を描きました」

### プロジェクト② 石

活動⑤/12月 コーナー活動

「貝磨きをして遊びました」

活動⑥/10月 全体活動

「絵の具でアンモナイトのような渦巻や丸を描いて遊びました」

活動⑦/1月 全体活動

「化石に見立てて型取り遊びをしました」

活動⑧/2月 全体活動

「生命の始まりである微生物をマーカーで描きました」

活動⑨/11月 全体活動

「土を掘って石探しをしました」

「見つけた石を仲間分けして遊びました」

活動⑩/1月 全体活動・コーナー活動

「石を削って遊びました」

「削ってできた粉を使って試し遊びをしました」

活動⑪/1～2月 コーナー活動

「スライムで鉱物を作りました」

活動⑫/2月 全体活動

「鉱物に見立てて寒天で琥珀糖を作りました」

活動⑬/2月 全体活動

「結晶作りの実験をして遊びました」

活動⑭/1～2月 全体活動・コーナー活動

「泥で模様を描いて遊びました」

活動⑮/2月 全体活動

「土粘土で土器を作りました」

## 日々の生活の中で生まれる 色・形の造形遊び

4月/園庭で草花のスケッチをしました

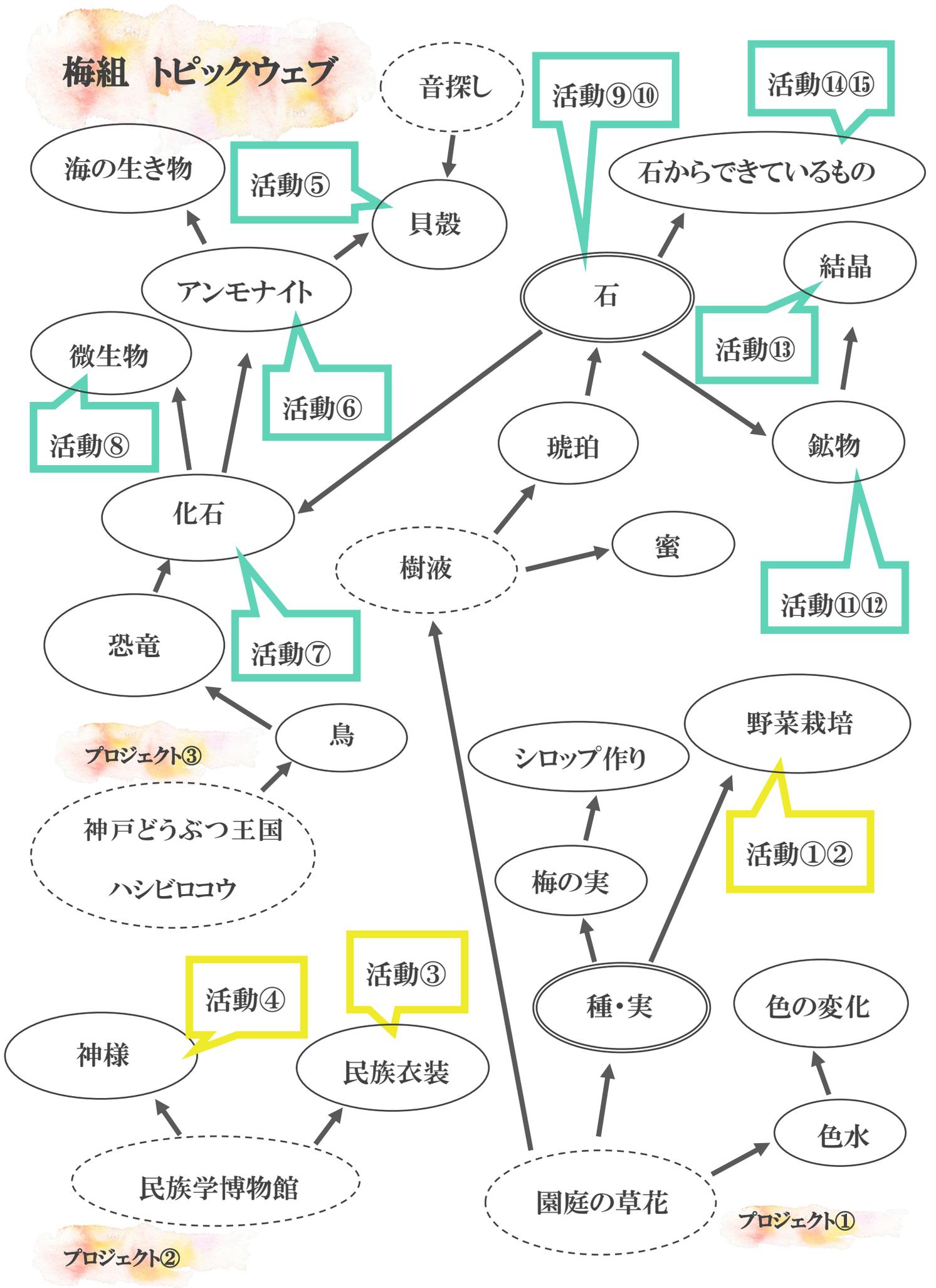
5月/鉛筆で線遊びをしました

5月/カラーセロファンで光遊びをしました

5月/マーブリングをして遊びました

6月/コンテパステルで色混ぜ遊びをしました

遠足で神戸どうぶつ王国に行くにあたりハシビロコウについて色々調べた梅組。遠足後、鳥はもともとは恐竜だったという話から、化石の話になり、みんなが知っている化石といえば…「アンモナイト！」と昔の海の生き物や貝殻の話をして1学期を終えました。そこから2学期に入り、園庭の桜の木やアーモンドの木から樹液が出ていることを発見！毎日外遊びに出ると樹液を取り、どうすれば溶けるのか実験的な遊びに夢中でした。ある日、樹液からできた天然の石「琥珀」があるという話と芝生にあった石がマグマからできているとわかり、一気に石の世界へとめり込んでいきます。石堀をしたり、石を並べて遊んだり、石を削ってみたりと様々な方法で石と触れ合ってきました。その中で「この石は何からできているんだろう」「キラキラしたきれいな石(鉱物)もあるよね」と興味関心は広がっていきました。そして自然史博物館に化石や鉱物を見に行くと「化石はどうやってできたの」「アンモナイトはどうやっておよぐの」「どうやって生き物は生まれたの」とより深いことまで知りたいという気持ちが溢れ、これをきっかけにいろんな遊びが展開されました。まだまだ探究の途中ですが、作品を通して子ども達がどんなことにワクワクしていたのか感じていただけると嬉しいです。





# 桜組のお部屋

担任：Y・T



## プロジェクト活動の展開と造形遊び

### プロジェクト① キラキラの石見つけた

活動①/4月 全体活動

「小さな世界を想像してみる」

活動③/10月 全体活動

「ロックバラシングに挑戦」

活動⑥/1月 全体活動

「こんな神様がいたらいいな」

活動⑧/2月 全体活動

「トーテムポールに出会う」

### プロジェクト② 鳥の声

活動②/6月 全体活動

「音に合わせて筆を動かしてみる」

活動④/10月 コーナー活動

「園内にある、おもしろ音マップ作り」

活動⑤/11月 全体・コーナー活動

「羽が生えた自分を作って遊んでみよう」

活動⑦/1月 全体活動

「自分だけの楽譜づくり」

## 日々の生活の中で 生まれる色・形の造形

6月/「電子顕微鏡で見つけた模様で切り開きあそび」

9月/「音作り」

10月/「自分のポーズを描いてみる」

1月/「オリジナルマーク作り」

1月/「くるくるまわるおもちゃ作り」

ある日、園庭でキラキラ光る石を見つけました。「どうして光るの?」「中はどうなってるの?」と、抱いた不思議がきっかけで、そこから新たな遊びが始まりました。肉眼では見えない世界をのぞくため、電子顕微鏡で石の細かな形や模様を観察すると、子どもたちは息をのんで見入っていました。「ここが星みたい」「線が地図みたい」と言葉にしなが、見えないものを自分の感覚で捉え直していく姿が印象的でした。関心は石だけにとどまらず、葉っぱの表面、服の繊維、紙の凹凸など、身近なものの“見えない表情”にも広がっていきました。石を積み上げたり並べたり、石でできたものを探したり、同じ石でも光り方が違うことに気づいたり、「試して、確かめて、また試す」姿が増えていきました。

もう一つのきっかけは、園庭の鳥の声です。「この声は何の鳥?」という問いから、鳥の声だけでなく、風や足音、水の音など、周りの音にも耳を澄ますようになりました。身近な素材で音を作る遊びも行い、できた音は録音して、自由に組み合わせたり編集したりして「自分たちの音楽」作りにも発展していきました。さらに、聞こえた音を線や形で描き、見えないものをイメージして表現する面白さも味わいました。子どもたちの「なぜ?」が、見方・聞き方・つくり方を変えていく軌跡が、今回の作品につながっています。どうぞ造形展を楽しみながら、お子さまと一緒に発見の物語をたどってください。

さくら組 トピックウェブ

活動⑦

楽譜

活動④

どんな形

音作り

飛んでみたい

音地図作り

羽

身近な音

音で動く形

地図記号

活動⑤

鳥の声

活動②

プロジェクト②

活動①

虫が見ている世界

シジミの観察

カタツムリ

小さな世界

見えない模様

電子顕微

貝は石？

活動⑧

なんできらきら？

トーテムポール

活動③

像

石でできたものは？

きらきらの石を見つけた

活動⑥

プロジェクト①